

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

トルコ：全国統一地方選挙の実施（1）

（3月31日付現地報道）

3月30日（日）、トルコ全土で市長村長ならびに県議会議員を選出する統一地方選挙が行われた。

2013年5月末から発生した大規模な反政府デモと、同年末に起こった主要閣僚の息子が絡んだ汚職事件、更にはエルドアン首相自身にも向けられた汚職疑惑を、国民がどのように判断するのかについて、国内外の注目が集まっていた。更には首相と息子のビラール氏との電話での会話とされる内容が、ツイッターや、YouTubeで流布したことから、これらSNSの遮断を行うなど、トルコがこれまで歩んできた民主化に逆行する動きも見られ、若年層を中心に批判的な声が高まりを見せていた。

しかしながら、蓋を開けてみれば、エルドアン首相を党首とする与党、公正発展党（AKP）に対して逆風かと思われた今回の選挙では、開票率が94%を超えた31日現在（日本時間）、AKPの得票率は43%を超え、2009年3月の前回選挙時より約4%増加している。エルドアン首相は30日夕方、アンカラのAKP本部のバルコニーで夫人と、首相とともに汚職疑惑の渦中にあるビラール夫妻とともに、勝利宣言を行った。

（金子 真夕）